

令和3年度春期選手権Ⅲ大会

帆走指示書

2021.6.24

大会日付 令和3年6月27日(日)
主催団体 (公財)広島県セーリング連盟
開催地 広島観音マリーナ

[NP]の表記は、艇は他艇の規則違反に対して抗議できないことを意味する。これは、RRS 60.1(a)を変更している。

[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーが適用できることを意味する。これは、RRS 63.1、付則A 5.1及びA 10を変更している。

1 適用規則

本レースには、2021～2024国際セーリング競技規則（以下RRSという）に定義された「規則」を適用する。

2 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書の変更は、観音マリーナに設置された公式掲示板及びLINEに当該クラスの予告信号の60分前までに掲示される。
- 2.2 また、海上においては、レースコミッティーボートにL旗を掲揚すると同時に、可能な限り全選手に口頭で通告される。内容を確認した艇は手を振ってこれに応じること。なお、海上における通告については、救済の要求の対象とはならない。

3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、観音マリーナに設置された公式掲示板及びLINEに掲示される。
- 3.2 艇は、出艇申告、帰着申告、安全情報管理のために限って、艇はレース中以外に携帯電話を搭載し使用してもよい。

4 行動規範

- 4.1 競技者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2 [SP]コロナ感染防止対策として健康チェックシートの提出が求められた場合、指定の時間までにLINE又は書面で提出しなければならない。

5 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、観音マリーナの信号柱に掲揚される。
- 5.2 [NP] [SP] 音響信号1声とともにD旗が掲揚された場合、「予告信号は30分以降に発する。」ことを意味し、競技艇はD旗掲揚までハーバーを離れてはならない。ただし観音マリーナ保管艇以外には適用しない。
- 5.3 [NP] [SP] Y旗が掲揚された場合、RRS 40.2の規定に従うこと。

6 レースの日程及びクラス旗とコース信号

- 6.1 その日の、最初のレース予定予告信号の時刻及びクラス旗は、次のとおりとする。

クラス	6月27日	コース	クラス旗
-----	-------	-----	------

470級	10 : 30	02	470旗
スナイプ級	10 : 35	12	スナイプ旗
レーザーラジアル級	10 : 40	02	レーザーラジアル旗
420級	10 : 45	12	420旗

- 6.2 各日とも、最初のレースに引き続き次のレースを実施する。
- 6.3 引き続き行われるクラスの予告信号は、任意のクラスが任意の時刻に掲揚される。
- 6.4 コース信号に使用する数字旗は、アウターループは数字旗1をインナーループは数字旗2を使用し、予告信号と同時に掲揚する。更なる信号は、AP旗の降下1分後に掲揚される。
- 6.5 競技者に昼食の時間を設けるため、APの下にナイフとフォークのロゴマークが掲げられた場合、少なくとも15分間は予告信号が掲揚されることはない。

7 レースエリア及びコース

- 7.1 レースエリアについては、観音マリーナ南西2.5km(商工センター沖)の海面とする。
- 7.2 コースについては、別図に示すとおりであるが、距離及び角度は、概略を表したものであり、海面の状況により一致しない場合がある。
- 7.3 タートマーク、各回航マーク及びフィニッシュマークは、コース図に示されたとおり定められた側で通過すること。

8 マーク

- 8.1 1~4の各マークはピンク色の円柱形ブイとする。
- 8.2 **レーザーラジアル級、420級の1マーク及び2マークに限っては、白色球形ブイとする。**
- 8.3 スタートマークは、スタートボードエンドに位置しオレンジ旗を掲揚したレースコミッティーボート及びポートエンドに位置しオレンジ旗を掲揚したレースコミッティーボートとする。
- 8.4 フィニッシュマークは、ブルー旗を掲げたレースコミッティーボート及びその直近の黄緑色柱状ブイとする。

9 スタート

- 9.1 スタートラインは、スタートマーク上でオレンジ旗を掲げたレースコミッティーボートのポール若しくはマストの間とする。
- 9.2 一連のスタート手続きの開始に先立ち、予告信号の5分以前にスタートラインの運営艇にオレンジ旗を掲揚する。
- 9.3 ゼネラルリコールとなった場合、第1代表旗は1分間掲揚され、そのクラスは未だ準備信号が発せられていない最後のクラスの後に再スタートする。これはRRS 29.2及びレース信号(第1代表旗)の意味を変更するものである。ただし、最終のクラスのスタートについては、RRS 29.2に基づきスタートさせる。
- 9.4 準備信号が発せられていない艇は、レース中の艇を避けなければならない。
- 9.5 スタート信号後4分以降は、当該クラスのスタートラインは消滅し、4分以内にスタートしなかった艇は審問なしにDNSと記録される。これは、付則A5.1を変更するものである。
- 9.6 RRS 30.4が適用され、その後再スタート、再レースまたは予定変更となった場合、

L旗を掲げるとともにその艇のセール番号をスタート信号まで本部船に掲示する。これは、RRS 30.4 の後段を変更している。

10 コースの次のレグの変更

- コースの次のレグの変更についてはRRS 33によるが、プラス旗及びマイナス旗については、視認できる距離であるため表示しない。これはRRS 33を変更するものである。
- RRS 33が適用された場合には、次のレグの最初のマークは黄色の三角錐ブイが使用される。

11 フィニッシュライン

通常のフィニッシュラインは、フィニッシュマーク上でブルー旗を掲げたレースコミッティーボートのポール若しくはマストと直近の黄緑色柱形ブイの間とする。

12 ペナルティー

- RRS 42の違反に対しては、付則Pによる。
- 出走申告及び帰着申告手続き違反等に対しては、レース委員会は抗議することなく標準ペナルティーを適用する。標準ペナルティーガイドラインは公式掲示(LINEを含む)される。

13 タイムリミットとフィニッシュウインド

- スタートからのタイムリミットは60分とし、最初の艇が60分以内にフィニッシュしそうにない場合、レースを中止することができる。
- フィニッシュウインドは、最初の艇がコースの帆走をしてフィニッシュした後、フィニッシュするまでの時間で10分とする。
- フィニッシュウインド内にフィニッシュしない艇はTLEと記録され、その艇の順位は審問なしにDNFと記録される。これは、RRS 35及び付則A 5.1及びA 5.2を変更している。

14 審問要求

- 抗議書の提出締切時刻は、その日の最後のクラスのレース終了後60分以内(公式掲示又はLINE)とし、観音マリーナにおいて受け付ける。
- 抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者等を選手に知らせるため、原則として抗議締切時刻後30分以内に公式掲示又はLINEに掲示される。
- レース委員会またはプロテスト委員会による艇への抗議の通告については、RRS 61.1(b)を変更し、公式掲示又はLINEに被抗議艇のセール番号を掲示することで代替する。
- 指示20~22に関する違反については、艇からの抗議の対象とはならないが、その事実をレース委員会若しくはプロテスト委員会へ報告することは妨げない。

15 得点

- 付則A 2を変更し、完了したレースが4レース未満の場合、全てのレースの得点の合計をその艇の得点とする。
- 参加申込みと異なる艇、セール及び乗艇者により競技した場合、付則A 5.1を変更し、そのレースについてはDNCとして扱われる。ただし、破損、負傷等で当該レースにおいてセーリングする前にレース委員会(委員会の公示)の了承を得た場合は、この限りでない。

15.3 最大 5 レースを予定しているが、本大会は 1 レース以上をもって成立する。

16 装備と計測のチェック

16.2 大会期間中にレース委員会は任意にインスペクション（検査）を行うことができ、クラス規則に抵触した場合、その艇はレース委員会から抗議される。

16.3 スナイプ級はクラスルールに基づき 2 セットのセールの使用が認められる。

16.4 非権利艇の影響等の不可抗力による破損については、レース委員会の了解を得た場合に限り交換が認められる。

17 [NP] [SP] 安全（出走申告、帰着申告等）

17.1 安全を確保するため、選手または代表者は、その日最初のレース予定予告信号の 60 分前までに L I N E 又は通常の申告（署名方式）により出走申告を行うこと。

17.2 また、同様にその日の最終レースの終了後 60 分以内に L I N E 又は通常の方法（署名方式）により帰着申告を行うこと。

17.3 レースを途中でリタイアした競技者は、その旨を最寄りの運営艇に伝えること。それが出来なかった場合には、帰着後その旨を申告（書面又は L I N E）すること。

17.4 クラスルールに定めがある場合は、クラスルールに適合したパドル 1 本とバウラインを搭載すること。また、クラスルールに定めがない場合は、曳航可能な直径 8 mm 以上で長さ 8 m 以上のバウラインを搭載すること。

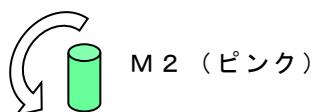
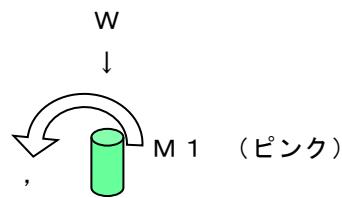
19 ゴミの処理

ゴミについては、運営艇に処分を依頼してもよい。

20 リスクステートメント

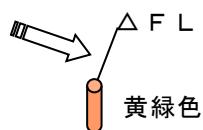
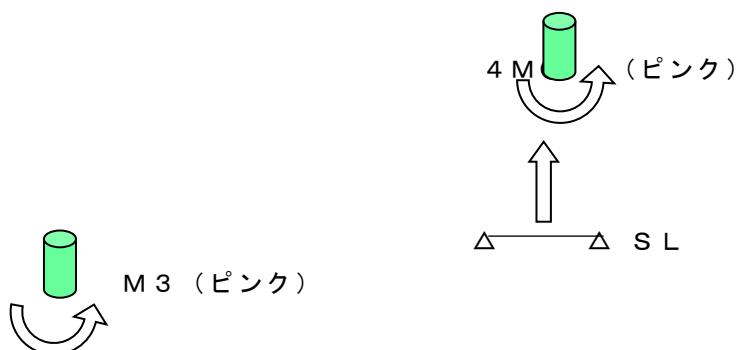
RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング。スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

コース図（トラペゾイド）



◎ M 2 (白色)

◎ M 1 (白色)



回航マーク順

コース〇2 スタート→1→2→3→2→3→フィニッシュ

コースⅠ2 スタート→1→4→1→2→3→フィニッシュ

M 1～M 4 及び M 2～M 3 の距離は、500～1000m

M 2 から M 1 及び M 3 への内角は、100°～120°